

# NFD 西白杵消防だより

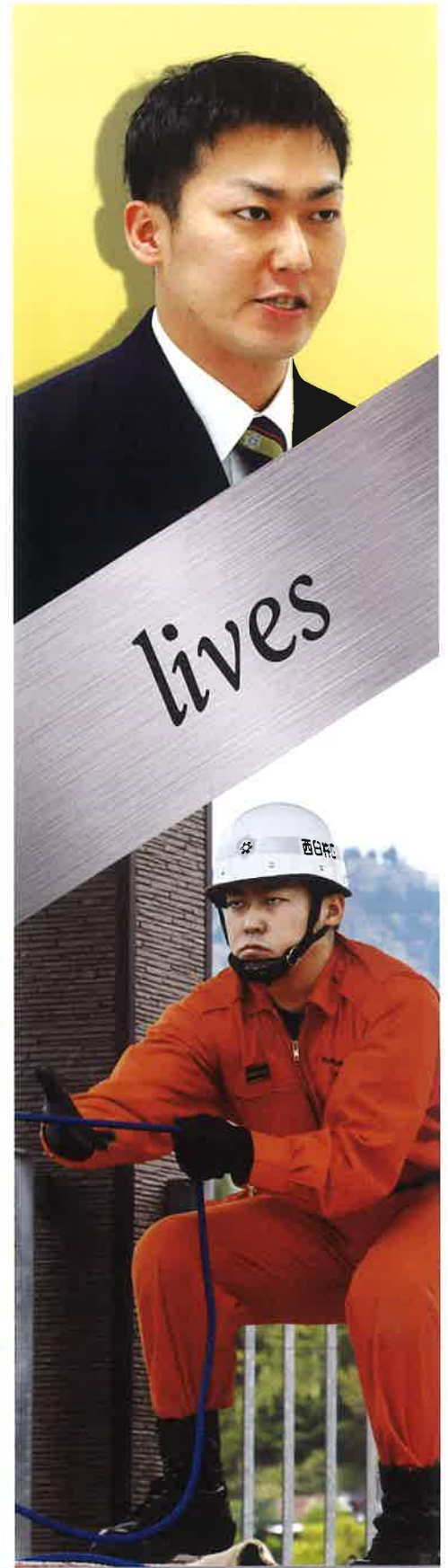
//////////////////// 2022年度 全国統一防火標語 //////////////////////

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

第11号



令和4年7月





# 宮崎県救助技術指導会 西臼杵広域消防本部選考会

5月に開催予定であった宮崎県救助技術指導会の選手選考会を令和4年4月18日（木曜日）に行いました。今回行った競技は、ロープブリッジ渡過、ロープブリッジ救出、ほふく救出の3種目で、16名の署員が出場しました。  
各競技には、基準タイムが決められ、動作についても細かなルールが規定されています。より早く正確に救出する事が求められています。



ロープブリッジ渡過は、張力700キロで張られた20メートルのロープを二つの渡過方法で往復する競技です。20メートルを渡るだけでも前腕の筋肉に乳酸が溜まり、張るような感覚になり握力が効かなくなつてきます。それを連続で40メートル実施するので最後は鬼の形相になります。（写真1は、県大会に出場が決まった甲斐貴政消防士長。）

ほふく救出は、長さ8メートルの煙道と呼ばれる小さなトンネルをくぐり抜け、要救助者をロープで結着し引っ張り出して救出する競技です。煙に包まれている想定なので救助者は空気呼吸器を装着。視界と呼吸に制限がある中で冷静で正確に活動できるように日々訓練しています。（写真2は、県大会出場が決まった甲斐大祐消防士長と佐藤光洋消防士。写真3は、同じくほふく救出で県大会出場が決まった甲斐貴政消防士長と赤松慎吾消防士。）

※新型コロナウイルスの影響で県大会は中止となりましたが、8月26日に行われる全国大会にロープブリッジ渡過で甲斐貴政消防士長が出場することが決定しました。



## 西臼杵広域行政事務組合 消防本部採用試験情報

令和4年度消防吏員採用試験を行います。詳しくは西臼杵広域行政事務組合消防本部ホームページをご覧ください。



### 水辺の事故に注意しましょう

これから気温の高い時期を迎え、川やプールなど、水辺で過ごす機会が増えます。楽しい時間を過ごすために、事故を起こさない心構えを再確認しておきましょう。事故は油断や過信が招きます。



- (1)体調が悪いとき（飲酒後も）には水に入らない
- (2)子どもを自分の視界から離さない
  - ・事故は、保護者がほんの少しでも子供から目を離れた際に発生します。水辺で遊ばせる際には絶対に目を離さないようにしましょう。

- (3)特に小さな子供には、水辺がなぜ危険なのか、どこが危険なのかを教えましょう
  - ・「知らないこと」は事故を予測することも回避することもできません。
  - ・危険な行為をしてしまうのも怖さを知らないからです。

- (4)浮き輪等があるからと楽観視しない
  - ・身体が浮いているから水の事故が起きないわけではありません。
- (5)適宜休憩を取りましょう
  - ・水の中は暑さを避けることはできませんが、とて



も大量の汗をかきます。脱水を避けましょう。  
・冷たい水の中に浸かっていると体調を崩すことに繋がります。  
・水の中はとも体力を奪われます。疲れは判断力や危険からの回避能力を低下させてしまいます。ご了承ください。

### もし水辺の事故が起きてしまったら

- (1)周囲にいる人に知らせて助けを求めましょう
- (2)すぐに119番通報をして場所と状況を伝えましょう
  - ・まずは場所を正確に伝えてください。番地や地名が分からないときはスマートフォンなどのGPS機能を使い、緯度・経度（北緯・東経）を教えてください。
  - ・ケガや病気などの救急であれば、しなければならぬことを電話口で指導します。

- (3)救助の必要がある場合は救助隊を待ちましょう
  - ・水の中で溺れているときには掴まれるような浮くものを近くに投げてあげましょう。また、長い棒などがあれば掴ませることも有効です。
  - ・泳いで人を助けることは非常に危険です。絶対にやめましょう。

## 消防職員意見発表会

西臼杵広域行政事務組合消防職員意見発表会を令和4年3月11日（金曜日）に開催しました。消防第1係から藤本啓貴消防士、第2係から甲斐奎士朗消防士、第3係から渡部真吾消防士の3名が発表を行い、藤本啓貴消防士が障害者の消防への参加を主眼とした内容で発表を行い、最優秀賞を受賞しました。また、4月14日（木曜日）に都城市で行われた令和4年度宮崎県消防職員意見発表会において奨励賞を受賞しました。



▲ 左から藤本啓貴消防士、甲斐奎士朗消防士、渡部真吾消防士。



# 令和3年中の災害等の状況についてお知らせします

## 令和3年中 災害等出動件数 単位:件

災害区分	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管轄外	合計
火災	15	5	3		23 (+8)
救助	9	6	0		15 (-2)
警戒	47	21	13		81 (+4)
救急	562	151	94	1	808 (+50)



※1 合計欄の( )内の数字は前年比の件数です。  
 ※2 警戒には、ドクターヘリ・防災ヘリ要請時の支援出動、火災かどうかの確認のための出動等が含まれます。

## 令和3年中の火災の状況(火災件数) 単位:件

火災種別	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合計
建物	7	2	1	10
林野	4	2	2	8
車両	1			1
その他	3	1		4
合計	15	5	3	23



## 令和3年中の救急の状況(出動件数) 単位:件

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器等輸送	その他	合計
高千穂町	2	0	0	23	1	2	72	4	2	312	139	0	0	5	562
日之影町	1	0	1	17	8	0	23	0	3	74	22	1	0	1	151
五ヶ瀬町	0	0	0	2	2	0	22	0	0	39	27	0	0	2	94
管轄外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	3	0	1	42	11	2	117	4	5	425	189	1	0	8	808



消防次長兼署長の岩倉敏宏司令(写真左)が消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を、副署長の戸高裕一司令(写真右)が宮崎県町村会自治功労者表彰をそれぞれ受章し、高千穂町長より伝達されました。

◀ 町長室にて撮影

### 表彰